

令和六年度 奈良金春会演能会

令和六年四月二十一日(日) 午後十二時半はじめ

奈良春日野国際フォーラム薨
(旧称 奈良県新公会堂)

能楽ホール

奈良市春日野町一〇一番地
電話(〇七四二)二七二六三〇(代)

能 小袖曾我

シ テ(曾我十郎祐成) 金春飛翔
ツ レ(曾我五郎時致) 金春嘉織
ツ レ(母) 中田能光
トモツレ(鬼) 王) 酒井賢一
トモツレ(団三郎) 松浦良太
ア イ(春日局) 山下守之
笛 赤井要佑
小鼓 荒木建作
大鼓 辻雅之

仕舞 岩船 衣キリ

岩船 田中直樹
羽衣 吉川恵宥
笹ノ段 湯本哲明

〈休憩 二十分〉

狂言 清水

シ テ(太郎冠者) 茂山千五郎
ア ド(主人) 井口竜也

仕舞 八熊 島野キリ

八熊 本田布由樹
熊野 金春安明
国栖 金春穂高

能 西行桜

シ テ(桜の精) 金春康之
ワ キ(西行法師) 原大
ワキツレ(花見) 原陸
ワキツレ(花見) 佐々木奏太
ア イ(能力) 茂山茂
笛 赤井啓三
小鼓 荒木建作
大鼓 上野義雄
太鼓 中田弘美

小袖曾我

(こそでそが)

解説 中 司 由起子

曾我十郎祐成(シテ)とその弟五郎時致(ツレ)が、家来の団三郎・鬼王(トモツレ)を伴い登場。兄弟は、富士の裾野でおこなわれる源頼朝主催の巻狩で、父の敵工藤祐経を討とうと決意する。決行前に兄弟は母(ツレ)に会い、五郎の勘当を許してもらおうとする。十郎は乳母の春日局(アイ)に案内を乞い、母と対面。しかし母は五郎とは会おうとせず、再び勘当を言い渡す。立ち去ろうとした五郎を連れ、十郎は母を説得にかかるが今度は兄弟揃って勘当となる。二人は懸命に決意を述べ、母の情にすがりつつ泣く泣く退出する。ついに母は二人を呼び戻して勘当を解く。心を通わせた母子は門出を祝って宴を設け、名残を惜しむ。兄弟は勇む心を胸に、揃って舞を舞う。

『曾我物語』には、十郎が母に小袖を乞う場面がありますが、現在の能にはありません。兄弟は「男舞」を相舞します。

西行桜

(さいぎょうざくら)

都の西山に住む西行(ワキ)が、能力(アイ)に庵の花見禁制をふれまわさせる。しかし都の人々(ワキツレ)がやって来て花見をさせてほしいと頼むので、西行は仕方なく庵の桜の見物を許す。そこで西行は心静かに桜を眺めることを妨げられたのは、桜のせいであると歌に詠む。すると夜、西行の前に老木の桜(シテ)の精が現れ、桜に罪はないと西行を諭す。精は都の名所の桜の美しさをたたえようと、舞を静かに舞い(序ノ舞)、夜明けと共に消え失せる。

老木の桜の精と西行が最後には心を通わせ、春の夜のひとときの出会いを惜しみます。

次回予告

六月二十三日(日) 午後十二時半

能 実 盛

金 春 穂 高

能 鍾 旭

金 春 憲 和

七月二十一日(日) 連合謡曲仕舞会

十月二十日(日) 午後十二時半

能 井 筒

高 橋 忍

能 野 守

金 春 嘉 織

四枚綴回数券

二〇、〇〇〇円

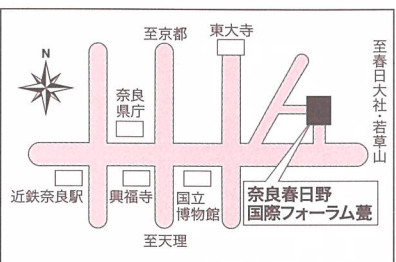
一般一回券

七、〇〇〇円

学生一回券

三、五〇〇円

◎鑑賞券は、奈良春日野国際フォーラム薨でも取り扱います。



奈良春日野国際フォーラム薨 能楽ホール

電話(〇七四二)二七二六三三〇(代)

・近鉄「奈良駅」から奈良交通バス市内循環

「大仏前」下車 東へすぐ

・近鉄「奈良駅」から徒歩二〇分

主催 奈良市教育委員会
後援 奈良県 奈良市 金春 嘉織 会

(公社)金春 円満 井会

お問合せ 電話

(〇七四二) 三三一九七二〇 金春

◎特別に許可された人以外の 写真撮影・録画・録音は お断りします。

◎携帯電話は電源をお切り下さい。また会話・飲食など 他のお客様の迷惑になるような行為は御遠慮下さい。

◎奈良春日野国際フォーラム薨の駐車場は 現在一般の方の車の受け入れをしております。

車でお越しの方は 他所に駐車場をお求めいただくこととなります。

◎満席の場合など 当日会場では入場券を発売しない事があります。又 入場制限する事もあります。

◎都合により、演者、曲目が変更される場合があります。

◎新型コロナウイルス感染症対策として

●マスクの着用は、ご来場されたお客様の任意といたしますが、場内での会話はお控えください。

また、アルコール消毒については、今まで通りお願いいたします。

●入場時発熱状態の方は、入場をご遠慮いただきます。

●会場の定員は五〇〇名ですが、座席数に制限をかける場合があります。